

「八洋」ウォーターサーバー事業売り上げ



明美ちゃん基金のステッカーが貼られたウォーターサーバー＝東京都新宿区（桐原正道撮影）

利用者希望に応じ一部寄付



額レンタル料500円で、天然水11・5リットル2箱が2800円、6リットル4箱が3000円（いずれも税別）。利用者が希望すれば、天然水の売り上げの10%が明美ちゃん基金に寄付される。

国内外の心臓病の子供らを救う「明美ちゃん基金」（産経新聞厚生文化事業団運営）に、自動販売機管理会社「八洋」（東京都新宿区）が、1日から利用者の

は「病気を抱える子供が少しでも良い医療を受けられ、将来健康で元気に活躍してくれたりと思う。支援の輪が広がってほしい」と話している。

希望に応じてウォーターサーバー事業の売り上げの一部を寄付する。

対象地域は東京（離島を除く）、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬の1都6県。申し込みは☎0120・320・842か同社ウェブサイト（<http://www.hachiyoh.co.jp/aqu>）から。電話では明美ちゃん基金への寄付を希望する旨を伝え、ウェブサイトでは申し込み番号（TAF11）を入力する。

同社はこれまで、管理する自販機の売り上げの一部を産経新聞厚生文化事業団の「産経新聞 明日への旅立ち基金」に寄付してきた。今回は、子供の命を救いたいこの思いから基金への寄付を決めたという。ウォーターサーバーは月

11）を入力する。